

科目	福祉コミュニケーション論	単位数	2
担当教員	都村 尚子、津田 耕一、御前 由美子		
履修対象	社会福祉学科2年秋学期		
目的	社会福祉の現場で最も重要なコミュニケーションについて、さまざまな障害、さまざまなニーズを持つ、それぞれの利用者・家族等に応じた方法や考え方を事例や現場での専門職の経験に触れながら、学習していくことを目指す。		
達成目標	<p>「知識・技能」</p> <p>(1) 様々な障害や疾病を持つ利用者等に対し、コミュニケーションを行うにあたって必要な知識・技術・基本的態度などを獲得し、自分の言葉で表現できるようになる。</p> <p>(2) 福祉現場に必要なコミュニケーションの本質や基本的なメカニズムを理解でき、説明できるようになる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」</p> <p>(1) 様々な障害や環境におけるそれぞれの利用者・家族らに対して、より適切なコミュニケーション方法を選び、判断できるようになる。</p> <p>(2) 実際の支援現場で利用者等に対し、より適切なコミュニケーションが行えるようになる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」</p> <p>(1) 専任教員、当事者、現場の指導者らによる講義によって、より主体的に福祉現場でのコミュニケーションについて理解することができる。</p> <p>(2) 小集団による作業において、メンバーの多様性を受け入れ、協働することができるようになる。</p>		
授業計画			
1	授業の概要・留意点、社会福祉の現在とコミュニケーション		
2	コミュニケーションとは何か？福祉コミュニケーションとは何か？		
3	福祉コミュニケーションの基本姿勢と技法		
4	要注意コミュニケーション		
5	運動障がい者とのコミュニケーション		
6	聴覚障がい者とのコミュニケーション		
7	精神障がい者とのコミュニケーション		
8	利用者家族とのコミュニケーション		
9	組織におけるコミュニケーション		
10	高齢者とのコミュニケーション		
11	視覚障がい者とのコミュニケーション		
12	バリエーションの理論について		
13	バリエーションの事例について		
14	バリエーションのテクニックについて		
15	バリエーションの実際・全体のまとめ、評価について		
授業形態	基本的に講義形式。一部演習(セルフワーク・ペアワークなど)あり		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
福祉コミュニケーション論	都村尚子(編) 津田耕一 高橋巨他	中央法規出版	2,400円+税
参考書	<p>「コミュニケーションと対人関係」 相川充・高井次郎 編著、誠信書房</p> <p>「心とコミュニケーション～精神環境の探究」竹市明弘・田畑洋子・渡辺雄三 編、勁草書房</p> <p>「コミュニケーション支援の情報科学」 高橋巨 現代図書</p> <p>「バリエーションへの誘い」都村尚子 コミュニティ・ライフ・サポート・センター</p>		
成績評価の基準・方法	提出物、レポート試験で評価する。		
留意点	授業の参加にふさわしくない態度(私語、居眠りなど)を修正しない学生には退学を求める。		
準備学習	前回の授業を振り返り、次回の教科書の範囲を通読しておくこと。		
備考	毎回授業内に記入する「振り返り」の中に講義への質問などがある場合はその回の担当講師より、回答などを行うことで翌週以降にフィードバックを行う。	No.	SW621004